

大阪府立富田林中学校・高等学校 学校運営協議会 議事録

校名	府立富田林中学校・高等学校
校長名	栗山悟、大門和喜

開催日時	令和 3 年 3 月 7 日 (土) 15:30 ~ 17:00
開催場所	高校校長室
出席者(委員)	津田会長、易委員、橋本委員
	書面による参加:大谷副会長、光山委員
出席者(学校)	栗山高校校長、大門中学校長、市口高校教頭、岡本中学教頭 松井事務部長
傍聴者	なし
協議資料	次第
備考	

議題等(次第順)	
【協議事項】	
① 文部科学省発表「富校版コミュニティ・スクール 持続可能なしくみの実現」についてのご意見、及び地域フォーラムについてのご意見	
② 今年度の振り返り及び来年度に向けて	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
① 発表動画「地域高校におけるコミュニティ・スクール 持続可能なしくみの実現」を視聴し、それに関する意見を募った。併せて、同日に開催している「地域フォーラム」を見学していただき、それに関する意見を募った。意見の概要と返答は以下のとおり。	
● 「地域フォーラム」については、最初にめざした方向になってきている。	
● 富校のCSは、学校の取り組みによる「テーマ型」と地域との繋がりによる「ローカル型」の2つを成し遂げることができている。中高一貫校ということもあり、6年通して取り組むことができるのは強みである。	
● 富校版CSの仕組みが全国的に広がっていけば、教員もやりがいが出るのでは。教育庁がもっと広めていかなければ教員の負担になる。	
⇒ 教員の負担が減らすことができないかと学校運営協議会の委員が発案してくれた。人も変わる中、持続可能な形にする必要がある。コーディネーターが企業や同窓会と繋いでくれて、大阪府の公民戦略連携デスクにも企業を紹介してもらっている。	
● 「地域フォーラム」での発表では、お互いにコミュニケーションをとり、考えて内容をしっかりと伝えることができていた。伝え方のスキルがこの年代で身につけているのは驚いた。	
● 発表するには知識や表現力など様々なことが必要となる。社会を生き抜く人間力が身につくまでの過程が大切なので、学校では意識してもらったら。	
⇒ これらの能力をはぐくむため、外部人材の支援を得ている。コミュニティ・スクールの仕組みがいかに大きいかを感じている。	
② 今年度の振り返りと来年度に向けての意見として挙げたものは以下のとおり。	
● 今年度の協議会は対面とオンラインのハイブリットがよかった。	
● フォーラムの見学のように実際に来て伝わることもある。決まったことはオンラインでも伝えられる。	
● 中学の制服検討の件は次年度の継続審議となるので、今後も取り上げていきたい。	

次回の会議日程	
日時	令和 3 年 6 月頃を予定
会場	大阪府立富田林中学校・高等学校内